



置農フライド

置農ふれあい通信

【学校スローガン】

「命」を育み、「心」を育み、「人」を育む。

『トピックス』

新入生66名を迎え、第2学年は59名、第3学年は49名、総勢174名の生徒を中核として、本校の令和4年度各種活動が始まりました。生徒と職員の奮闘にご期待ください。



1 66名の生徒が元気に入學。

「Re Start（再出発）」。これは新学年「学年便り」の表題です。

6名の担任団の内、4名が新任者。担任3名中2名が初めて担任を任されました。「生徒達とともに教員も新しい船出」との意味も込めた先の表題からも担任団の強い想いが感じられます。

さて、新入生諸君や保護者の皆様は、楽しく充実した安全安心な高校生活を期待して入学式を迎えられたはず。全職員を挙げてその思いにお応えできるように全力で努めてまいりますので、学校関係者の皆様におかれましても、これまで同様支援賜りますようお願い申し上げます。



【目次】

- 1 66名の入学生
- 2 対面式・部紹介
- 3 新入生がインターン
- 4 SNS危機管理講座
- 5 PTA総会
- 6 創立記念式
- 7 避難訓練①
- 8 生徒総会・農ク総会
- 9 各種実習
- 10 YouTube「置農チャンネル」
- 11 編集者コラム

2 対面式と部紹介で大歓迎。

本校生に限らず、殆ど全ての新生がこのイベントにストレスを覚えるのではないのでしょうか。入学式では一部の在校生と挨拶を交わすだけ。先輩たちの優しさに包まれるのはほんの数分ですが、体育館に整列する新生はやはり一様に緊張しています。

そのような中、生徒会長の歓迎の言葉に始まり、生徒会活動や農業クラブ活動の説明の後、部活動紹介が行われました。一人でも多く入部して欲しい先輩部員は、皆必死にパフォーマンス。仲間を増やすための準備やプレゼン、それらの経験全てが卒業後にきっと咲くことでしょう。



3 新生刈りインテークで置農生に変身。

皆さんは「諸規定集」をご存じですか。「諸規定集」は各学校の事情に応じたルールブックであり、教職員はこれを根拠に様々な教育活動を遂行します。新生たちも、一日も早く様々な規定を理解して「置農生」に変容しなくてはなりません。今年度は土曜日が入学式。月曜日が代休だったため、登校再開直後、火曜日の午前中を使って、刈りインテークが実施され、学習や日常生活、進路活動や部活動など入念な説明を受けました。

当日は新学年担任団も生徒と一緒に学びます。どんな学級、学年になるかは所属員次第。これからの一年生と担任団の成長にご期待ください。



4 SNS 関連被害回避を目指して。

「エゴ・サーチ」。人はどうして他者の目線が気になるのでしょうか？ また、人はなぜ他者の悪口を言うのでしょうか？全国的に SNS に関連した人間関係のトラブルが多発しており、被害者になったり、時には加害者になったり。不必要なトラブルの回避を目指して、外部講師をお招きした研修会を年度当初早々に実施しました。

特に、今年度は「18 歳成人制」の初年度。3 年生の消費トラブルも懸念されます。人生経験の浅い生徒達。目に見えない情報に惑わされず、実在する事物を大切に、大人に相談しながら過ごして欲しいものです。



5 ハイブリッドで「各種総会」開催。

今年度の「総会」は整備されたばかりの「一人一台端末」を活用してオンライン併用型で開催することになりました。教育活動充実に向けた各団体役員の皆様、保護者の皆様を含めた全校挙げての大きな挑戦です。

職員個々に様々な準備に努めて当日を迎えました。当初、生徒のオンライン入室時に多数の支障が生じることを想定していましたが、職員が結束して対処。画面に映し出された各学級生徒の顔を見た担当者は一様に笑顔でした。今回の総会を契機として各種懇談会や面談時の活用などの充実も図ってまいります。ご協力頂いた皆様ありがとうございました。



6 創立127年の伝統校。

「南置賜郡立蚕業学校」として米沢市屋代町に本校が設立された年、「下関条約」が締結されました。前年に開戦した「日清戦争」終結条約であり、日本の全権大使は伊藤博文と陸奥宗光。清国は2億両(テール)の賠償金の支払い、朝鮮の独立、遼東半島・台湾・澎湖諸島の割譲などを承認。高校時代に日本史で習った内容を目にし、本校の伝統の偉大さを改めて痛感しています。

さて、今年の「創立記念行事」では外部講師から基調講演して頂いた後、代表生徒と職員を交えたパブリックセッションを開催。農業の楽しさと各方面から寄せられる本校生への期待を再確認できる機会になりました。



7 「備えよ、常に！」避難訓練開催。

先月16日、23時過ぎに発生した最大震度6強の地震で運休していた東北新幹線がようやく全線開通。地震当夜、関係職員として学校に駆けつけると、既に宿直担当者や近隣在住職員が既に施設被害状況の確認にあたっていました。私はうっかり学校のマスターキーを忘れてしまい、15分ほど到着が遅れる失態を犯し、仲間の有難さを改めて痛感。

思い起こすのは東日本大震災。家族に連絡がつかない時の不安や信号機の有難さなど、多くのことを再認識する機会にもなりました。大切なものを守るためにもしっかり備え、安心できる環境を維持しましょう。



8 いよいよ「実習」が本格化。

置農生は季節に対する感度が抜群に高く、特に、春を待ち望む者がたくさんいます。5月に入り、各種実習がいよいよ本格化し、水田や畑、温室や果樹園、畜舎や加工室をはじめ、敷地内外様々な場所で作業着を来た置農生が張り切って活動を開始。動植物の命を身近に感じながら多感な青春時代を過ごし、自身のあり方や進



み方をゆっくり丁寧に悩み、次の道に進める置農生。高校生活の中で仲間や地域の方々との協働、交流しながら、長い人生の楽しみを一つでも多く見つけ、羽ばたいてくれることを願い、社会に貢献してくれることを期待しています。

新入生も置農に慣れ、毎日元気に登校しています。温かな日差しや心地よいそよ風を感じながら着実に成長する本校生にぜひ「頑張れ」とお声がけください。

9 「置農植物園」の草花と昆虫

本コーナーでは、本校敷地内に生息する草花や昆虫を紹介させて頂いています。新型コロナウイルス感染症の収束見通しが立たず、海外に目を向ければ祖国を追われる人々の姿や悪化する経済などに関する暗いニュースが飛び交う中、本コーナーを通して少しでも皆様の心を癒して頂ければ幸いです。

本紙購読をきっかけとして、ぜひご来校の上、豊かな自然と本校教育活動をご堪能ください。



10 「置農チャンネル」も絶好調!!

学校HP (<http://www.okitama.ah.ed.jp>) に加えて YouTube (「置賜農業高等学校」で検索または右 QRコード) でも情報発信しています。農業の楽しさと本校の魅力を、ご体感ください。



【編集者コラム】・・・ 高校生活の意義って ...

筆者は今年 55 歳。高校入学から 40 年経過しようとしています。中学校で集団暴力にあい、高校デビュー果たそうと背伸びして入学式を迎えましたが、自分よりも強そうな人、野球がうまい人、勉強ができる人が必ずいて、どの分野でも「一番」にはなれませんでした。今時の生徒諸君も当時の私と同じように、「再出発」を決意して、新たな生活に期待を寄せ、幾度も挫折を経験するかもしれません。そんな時は、素直な気持ちで先生たちに愚痴や不安を漏らしましょう。きっと心がちょっとだけ軽くなるはずですよ。

今後の予定

【 6 月 】

- 1 水 内科検診②
- 6 月 代休(5/14 土)
- 7 火 進路切替が 1 日
- 10 金 スクール・カンパニイ
- 13 月 農業鑑定競技会①
- 14 火 全校ポラティフ①
- 15 水 学校評議員会①
- 22 水 農ク意見発表会
内科検診③
- 24 金 一斉退校日
- 27 火 スクール・カンパニイ
- 28 火 応急処置講習会